



クラウドファンディング実施でコロナ禍の組合員を支援

茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合

住 所	〒310-0021 茨城県水戸市南町二丁目5番24号 榎澤本店ビル4階C号室		
U R L	http://www.ibaraki-yado.jp/		
設 立	昭和40年1月	主 な 業 種	旅館業・ホテル業
組 合 員 数	381人	出 資 金	1,676千円

■背景・目的

インバウンド需要で好調に推移してきたホテル旅館業界であったが、コロナ禍により休館を余儀なくされる組合員も出るなど危機的状況に陥っていた。この状況に危機感を持った青年部は、行政の支援を待つだけでなく自らで打開しようとした。そこで、青年部は組合でクラウドファンディングを実施して組合員を支援することを提案し、理事会の決議を経て実施を決定。また、支援者には県内の宿泊施設利用を通じて茨城の魅力を多くの人に伝えることとした。

■取組みの手法と内容

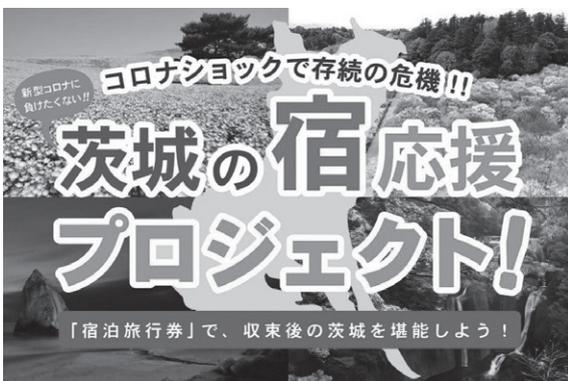
まず、青年部でクラウドファンディングのスキームを固めたうえで、全組合員に希望調査を行ったところ、手数料を負担することに抵抗を感じる組合員がいた。そのため、クラウドファンディングの支援方法として支援者が希望する宿泊施設を選択して、購入(支援)金額の10%を上乗せした宿泊旅行券をリターンする購入型のほかに、リターンなしの寄付型を導入した。寄付型の支援金から運営費用を賄い、賄えなかった分は青年部の予算から支出することとして、組合員は実質参加費用無料の仕組みを構築したことで参加組合員が増加していった。

クラウドファンディングは、令和2年5月18日から6月30日の期間で募集し、コロナ禍での旅館業・ホテル業の救済だけでなく、「宿泊施設の利用を通じて茨城県の魅力を多くの人に伝えたい」という想いを込めた。また、茨城県のサポートを受けてプレスリリースを行ったことでメディアに多数取り上げられた。結果として、県内外からの支援の動きが広がり目標金額を上回る支援を得ることができた。最終的に運営費用は寄付分で賄うことができ、残金は参加組合員すべてに均等割りして配分した。

支援者の多くは県内在住で組合員企業を利用した経験があり、参加組合員は足元のお客様を大切にすることの重要性に改めて気づくことができた。

■成果とその要因

獲得目標金額を上回ることであった要因としては、組合員の想いに支援者が共感し、青年部が実行部隊としてスピード感をもってすべての業務を遂行したことがあげられる。また、個々のホテル・旅館での取り組みではなく組合全体で実施したことで、組合員が組合の意義を再度確認することができ、今後の組合活動に向けて大きな経験となった。



クラウドファンディングサイト



応募(支援)方法



Point

行政の対応を待たずに自ら苦境を打開すべく、クラウドファンディングに挑戦した青年部の情熱とスピード感が、キーファクターといえる。